

一般科目とは

全学科共通の一般科目は、授業時間数からいえば、1年から5年までのカリキュラム全体の約半分をしめており、低学年ほど一般科目の割合がたかく、学年があがるにつれて専門科目がふえる、という「くさび」型のカリキュラム編成となっています。

高等専門学校では、大学への編入学等で進学するにしても特別の受験勉強は必要ありませんから、一般科目でも、5年間でしっかりした「教養」をやしなうことがめざされています。

みずからの専門の基礎をなす土台をつくるために、また、視野のひろい市民としての見識や感覚をみにつけるために、勉学にはげむ学生にとってがんばりがいのある教育の質を提供したい、と一般科目の教官は考えています。

高等専門学校の教官は、学生の教育にあたるだけでなく、それぞれの専門領域についての研究活動もおこなっています。いうまでもなく、その成果は講義等の教育活動に直接いかされていますが、一般科の場合、それにくわえて、工学以外のさまざまな領域の専門家を擁することで、学生諸君の主体的な知的好奇心にもはばひろく応えうるものとなっています。

参考までに、一般科教官が研究活動をおこなっている専門領域の概要を紹介しておきます。( )内は主な担当教科です。

近代日本文学、国文学(国語、文学)、考古学、民俗学(地理・歴史、美術史)、地域産業論(政治・経済、経済学)、哲学(倫理、哲学)、一般位相数学、代数学、微分方程式(数学)、応用物理(物理)、高分子化学(化学)、運動生理学、運動方法学(保健体育、健康科学)、英文学、英語学、言語獲得、アメリカ文学(英語)。

区分	授業科目	単位数	学 年 別 配 当					備 考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	国語	8	3	3	2			
	倫理	2			2			
	政治・経済	2	1	1				
	地理・歴史	4	2	2				
	数学	18	6	6	6			
	物理	4		4				
	化学	4	4					
	保健・体育	9	3	2	2	2		
	美術	1	1					
	音楽	1		1				
英語	18	6	5	5	2			
修得単位数計	71	26	24	17	4			
選択科目	文化史	2				2		
	日本文学	2				2		
	法学	2				2		
	経済学	2				2		
	哲学	2					2	
	人文・社会特論	2					2	いずれか2単位
	健康科学	2					2	
	自然	2		2				いずれか2単位
	地学	2		2				
	外国語	4				2	2	4年次は いずれか2単位
中国語	4				2	2		
開設単位数計	26		4		12	10		
修得単位数計	6以上		2		2以上	2以上		
開設単位数合計	97	26	28	17	16	10		
修得単位数合計	77以上	26	26	17	6以上	2以上		

特別活動

時間数	1年	2年	3年
90	30	30	30

授業科目名	担当教官	学年学科	単位数	必・選	授業形態
国語	金芳憲雄 村田由美	1全	3	必	週3時間通年
教科書・参考書等					
教科書：「展開国語Ⅰ」亀井秀雄 桐原書店					
授業目標・授業方針・学習方法・評価方法等					
<p>授業目標： 国語を的確に理解し、適切に表現する基本的能力を身につけさせる。 文学・芸術・思想・言語などの広い分野にわたる文章に触れさせ、思考力や感受性を育てる。</p> <p>授業方針： 評論・随筆・小説・詩歌・古典等、さまざまな文章を読解していく。 さらに国語常識についても、時間をかけて習得させる。</p> <p>学習方法： 週3時間を現代文2、古典Ⅰの配当で学習する。</p> <p>評価方法： 4回の定期試験を中心に、平常の小テスト、課題等を含めて総合的に評価する。</p>					
授業進度・内容					
前 期			後 期		
6	現代文	随想Ⅰ	4	現代文	小説Ⅱ
6	〃	小説Ⅰ	5	〃	評論Ⅱ
2	古文	古文入門	4	〃	短歌と俳句
4	漢文	漢文入門)	4	〃	小説Ⅲ
			4	古文	随想と日記
2	前期中間試験		3	漢文	史話
6	現代文	評論Ⅰ	2 後期中間試験		
6	〃	詩			
4	〃	随想Ⅱ			
4	古文	物語文学	5	現代文	評論Ⅲ
4	漢文	史話	5	〃	小説Ⅲ
			5	古文	和歌
			5	漢文	唐詩
2	前期末試験		2	学年末試験	

授業科目名	担当教官	学年学科	単位数	必・選	授業形態
政治経済	時松雅史	1全	1	必	週1時間通年
教科書・参考書等					
教科書：『政治・経済』都留重人ほか 実教出版 プリント資料配布					
参考書：『法とは何か』渡辺祥三 岩波新書 『憲法を読む』小林直樹 岩波新書					
授業目標・授業方針・学習方法・評価方法等					
<p>授業目標： 近代市民社会を形成した政治的諸原理を理解する。また、憲法は何のために存在するのか、国民にとってどういう意味をもっているのか、という基本的問題を理解する。さらに石油をはじめとする資源・エネルギー問題を扱うことにより国際政治の動向を理解する。</p> <p>授業方針： 教科書、プリントを丁寧に読み、論理的な思考力を身につける。</p> <p>学習方法： 解説をよく聞き、教科書、ノートを丁寧に読む。</p> <p>評価方法： 定期試験を重視する。また授業ノートを評価の参考にする。</p>					
授業進度・内容					
時数	前 期			時数	後 期
2	1. 国際社会の変容			3	8. 日米安保条約と日本の軍備
2	2. 政治社会の特質			3	9. 平和主義と日本の防衛問題
4	3. 民主政治の諸原理			4	10. 国際政治の課題と日本
2	4. 日本国憲法の成立			5	11. 資源・エネルギー問題
2	5. 日本国憲法の基本原理			学年末試験	
2	6. 日本国憲法と基本的人権				
1	7. 現代社会における人権				
	前期末試験				

授業科目名	担当教官	学年学科	単位数	必・選	授業形態
歴史(地歴)	佐藤伸二 時松雅史	1全	2(1)	必	週1時間通年
教科書・参考書等					
教科書: 『世界の歴史』 神田信夫、柴田三千雄・山川出版社					
授業目標・授業方針・学習方法・評価方法等					
<p>授業目標: 現代の世界がどのようにして成立してきたかについて、大筋を理解させる。</p> <p>授業方針: 東ヨーロッパ世界・西ヨーロッパ世界・イスラム世界の特色と成立課程を理解させる。(東アジア世界については第2学年で日本史とのからみで取り上げる。) 近代ヨーロッパ世界の形成と膨張の課程を理解させる。</p> <p>学習方法: よく話を聞き、教科書中の地図・年表を良く見て、大筋をつかむ。</p> <p>評価方法: 年4回の定期試験を軸に評価する。</p> <p>*尚、前期はM科、B科を佐藤が、C科、E科を時松が担当し、後期はM科、B科を時松が、C科、E科を佐藤が担当する。</p>					
授業進度・内容					
時数	前期(後期)	時数	後期(前期)		
1	(1) 人類の進化と古代文明の発生	4	1. ヨーロッパ中世封建社会の解体と集権国家体制の確立		
1	(イ) 人類の進化				
1	(ロ) 人種と民族	4	2. ヨーロッパ市民革命		
1	(ハ) 農耕文化と古代文明	1	後期中間試験		
2	(2) 古代オリエント世界				
1	(イ) エジプトとメソポタミア	4	3. 産業革命と資本主義の確立		
1	(ロ) 音標文字と一神教	3	4. 労働運動と社会主義		
1	前期中間試験	1	学年末試験		
2	(3) 古代地中海世界				
1	(イ) 古代ギリシャとヘレニズム				
2	(ロ) ローマ帝国の成立				
2	(ハ) ローマ帝国の成立とビザンツ帝国の成立				
2	(ニ) イスラム帝国の成立				
1	前期末試験				

授業科目名	担当教官	学年学科	単位数	必・選	授業形態
地理	吉岡威夫	1全	2(1)	必	週1時間通年
教科書・参考書等					
教科書: 『詳説 新地理 B』 山本正三他 二宮書店					
地図帳: 『新詳高等地図 最新版』 帝国書店					
授業目標・授業方針・学習方法・評価方法等					
<p>授業目標: 世界各地に展開するさまざまな生活のありさまを理解するために、生活を支えるあるいは規定するであろう自然環境に関して、基礎的な理解を得る。</p> <p>授業方針: 教科書にある基本的知識の理解をさらに深めるため、毎時地理資料を準備し解説を加え、さらにこれらの知識の修得を前提に、分布、比較、因果関係など地理学習の3要素をもとに、多様な自然環境の理解を深めさせる。</p> <p>学習方法: 毎時の予習・復習を勉める。ノートのまとめ方を指導し、基礎知識の予習ページと授業時の新たな知見ページと復習ページにわけてまとめさせ、定期的にノートを点検し評価する。</p> <p>評価方法: 4回の定期試験により、総合的に評価を行う。</p>					
授業進度・内容					
時数	前期	時数	後期		
8	□さまざまな地図と現代世界		□地球と環境問題		
	地図と写真でみる現代社会	4	熱帯林の破壊と熱帯の生活		
	地球と世界地図	4	砂漠化と乾燥地域の生活		
	地理情報の地図化	1	後期中間試験		
1	前期中間試験				
7	□自然環境と生活	4	酸性雨の増加と冷帯の生活		
	世界の地形環境				
	世界の海洋と陸水	3	地球温暖化とその対策		
	世界の気候環境	1	学年末試験		
1	前期末試験				

授業科目名	担当教官	学年学科	単位数	必・選	授業形態
数 学	野入 隆 元田康夫 小原康博 五十川 誠	1全	6	必	週6時間通年
教科書・参考書等					
教科書：「新編 高専の数学1」 田代嘉宏 難波完爾 森北出版 問題集：「新編 高専の数学1問題集」 田代嘉宏 森北出版					
授業目標・授業方針・学習方法・評価方法等					
<p>授業目標：初等関数の基本的性質を習得する。 計算力を身につけると同時に、論理的にまた総合的に考える力を養う。</p> <p>授業方針：各項目の説明、定理や公式の証明等を行い、実際に問題を解き理解を深める</p> <p>学習方法：毎日の予習・復習による積み重ねが大事である。教わった項目はすぐに問題解きを行い、定理・公式等を十分に理解し、その重要性を認識しよう。 なお学習のしおりも併せて参考にするとよい。</p> <p>評価方法：主に各種の試験（定期試験4回、夏季共通試験、その他各教官が行う試験）で評価を行うが、レポートの提出状況、授業態度等も加味する。</p> <p>メモ： 数学教室は学生の積極的な質問を待っています。</p>					
授業進度・内容					
時数	前 期	時数	後 期		
18	1章 式と数 1 整式の計算	20	7 関数とグラフ		
16	2 数と集合	12	4章 指数関数・対数関数 8 指数関数		
10	2章 2次の関数・方程式・不等式 3 2次関数	12	9 対数関数		
2	前期中間試験	2	後期中間試験		
18	4 2次方程式	14	5章 三角関数 10 三角関数の定義		
12	5 2次関数のグラフと不等式	10	11 三角関数の性質		
14	3章 関数・方程式・不等式 6 命題・恒等式・方程式・不等式	10	12 加法定理とその応用		
2	前期末試験	10	13 三角形の性質		
		2	学年末試験		

授業科目名	担当教官	学年学科	単位数	必・選	授業形態
化 学	上土井 幸喜 小林 浩	1全	4	必	週4時間通年
教科書・参考書等					
教科書：「精解化学I B」黒田晴雄 他 教研出版 問題集：別途指示する。					
授業目標・授業方針・学習方法・評価方法等					
<p>授業目標：物質相互間に存在する深い関連性を見出し、系統的かつ総合的に物質を理解する能力を身につけさせる。</p> <p>授業方針：化学に対する興味と理解を深めるために、各項目の説明に演習実験を加え、さらに数テーマの実験を行う。また、教科書や、問題集の問題も解く。</p> <p>学習方法：授業中の理解を確実にするために、予習・復習は必ず行い、問題意識をもって授業にのぞむ。教科書や、問題集の問題を自分で解き事項の整理や理解を一段深める。疑問を生じたら、そのまま放置しないでどんどん質問すること。</p> <p>評価方法：4回の定期試験、夏季共通試験、その他小テスト、実験レポート等で評価を行う。</p>					
授業進度・内容					
時数	前 期		時数	後 期	
10	第1編 物質の構成と粒子の結合 物質の構成		10	酸と塩基の反応	
10	粒子の結合		10	酸化還元反応	
10	物質と化学反応式		10	電池と電気分解	
2	前期中間試験		2	後期中間試験	
4	第2編 物質の状態 物質の三態		4	第4編 無機化合物の性質 典型元素とその化合物	
6	気体		4	遷移元素とその化合物	
6	溶液			第5編 有機化合物の性質 有機化合物の分類と分析	
10	第3編 物質の変化 熱化学		4	脂肪族炭化水素	
2	前期期末試験		4	アルコールと関連化合物	
			4	芳香族化合物	
			2	糖とアミノ酸	
			2	学年末試験	

授業科目名	担当教官	学年学科	単位数	必・選	授業形態
保健体育	宅島 章 四宮一郎 栗谷 敦 田中由美子	1全	3	必	週3時間通年
教科書・参考書等					
教科書：プリント資料配布					
授業目標・授業方針・評価方法・学習方法等					
<p>授業目標：集団における指導性はもちろん、発育段階に応じた基礎的体力の向上と基礎的技術の習得を目指す。また演習も取り入れ、運動の実践を通して自己に効果的な運動の方法を学び、自己の体力について評価ができるようにする。</p> <p>授業方針：個々における運動種目については運動技術の習得だけでなく、基礎的体力の向上を目指し、身体活動量が豊富な授業を展開する。また、演習ではレポートの提出を課す。さらに、保健については、学年末試験を行う。定められた体育服、体育館シューズ以外の着用は認めない。また、危険防止のため装身具類の着用も禁止する。</p> <p>評価方法：学年末試験と運動種目ごとに評価を行うが、出席状況、レポートの提出状況、授業への積極的参加および貢献度等も総合して評価を行う。なお、出席時間不足については原則として学年評価はしない。</p>					
授業進度・内容					
時数		時数			
1期 1班	トレーニング実践Ⅰ 担当者 宅 島	3期 1班	陸上競技 担当者 栗 谷		
2班	陸上競技 栗 谷	2班	ハンドボール 四 宮		
3班	ハンドボール 四 宮	3班	トレーニング実践Ⅰ 宅 島		
女子	バレーボール 田 中	女子	ダンス 田 中		
全	水 泳 全教官		剣道・保健 M, B 担当者 四 宮		
2期 1班	ハンドボール 担当者 四 宮		E, C 宅 島		
2班	トレーニング実践Ⅰ 宅 島				
3班	陸上競技 栗 谷				
女子	陸上競技 田 中				

授業科目名	担当教官	学年学科	単位数	必・選	授業形態
美術	中野和枝	1全	1	必	週1時間通年
教科書・参考書等					
別になし					
授業目標・授業方針・学習方法・評価方法等					
<p>授業目標及び方針： 絵画や彫刻などの純粋芸術としての「美術」としてより、実社会との深い関わりがある「デザイン」の基礎として「形や色」を基本に、実技を主としたものとする。</p> <p>形は主にデッサンを中心とし、色は、三原色からの12色相環づくり、平面構成など。形と色をまとめたかたちとして、C・D ジャケットなどの製作を通して「デザイン」の一つの手法を学ぶ。</p> <p>学習方法： 物体を単純な形にすると、立方体や球などの基本の形となる。その形には高さや幅や奥行があり、その比を正確にとらえ、光と影で表現する。物体には必ず色がある。三原色（赤、青、黄）から生まれる色について学習し、その色が生まれて来る過程や、隣り合う色によってその色が変化することなど体験する。</p> <p>評価方法： 各作品の平均点とする。</p>					
授業進度・内容					
時数		時数			
1	オリエンテーション	1	色についての話し		
1	明度尺	1	12色相環台紙づくり		
5	立方体、球、円錐、円柱など、基本形のデッサン（コンテ鉛筆による）	3	12色相環づくり（三原色による）		
4	基本形による平面構成（コンテ鉛筆によるモノクロ表現）	1	メビウスの輪づくり		
		1	メビウスの輪デッサン 5ポーズ		
		6	メビウスの輪による平面構成		
		7	C・Dジャケット デザイン		

授業科目名	担当教官	学年学科	単位数	必・選	授業形態
英語 I (総合英語)	山田章則、折田 充 宇ノ木寛文、福島寛、 松田由美	1年全	6 (5)	必	週5時間通年
教科書・参考書等					
教科書: 『Unicorn I』		末永國明他		文英堂	
問題集: 『Unicorn I Workbook』				文英堂	
参考書: 『Prospect I』		千葉元信編		桐原書店	
『高校英語』		浅野博、水江彰一		啓林館	
『標準英単語 フォーカス 3000』		現代英語研究会		啓林館	
『The Phantom of the Opera』		『Ear-rings from Frankfurt』		Oxford U.P.	
授業目標・授業方針・学習方法・評価方法等					
<p>授業目標: 「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の4技能にわたり、基礎・基本的な運用能力を習得すると共に、自発的な学習習慣を身につけさせる。また、英語学習に加え、外国の文化・習慣に目を向けさせる。</p> <p>授業方針: 「読みとり・聞き取り」についてだけでなく、表現の指導も行う。学生の授業での積極的な言語活動への参加を重視し、その一環として身近な話題についての言語活動を課す。長期休暇中には、英語の読み物を課題として与える。また、単語力養成のための指導や、総合問題集による指導も随時行う。各長期休暇後にはそれらをもとに課題テストを実施する。2年生に進級する際には全員が実用英語検定3級の資格は取得できることとする。</p> <p>評価方法: 授業への積極的参加と、クラス全体の学習の深化に貢献する質問や言語活動への取り組みを高く評価する。そして、授業中の取り組み状況、定着度確認テスト、授業外で取り組む課題、加えて、定期考査を総合して評価する。</p> <p>アイスブレイク: 基本的に、質問等は対応できる時間帯に随時受け付ける。</p>					
授業進度・内容					
時数	前 期	時数	後 期		
9	1: The Internet Age	13	9: Jeannette Rankin		
10	2: Terakoyas Throughout the World	13	10: How to React to Familiar Names		
10	3: The Soybean Road	13	For Reading 2:		
10	4: Language and Culture	2	Thank You, M'am		
2	前期中間考査		後期中間考査		
8	For Reading 1:	15	11: The Lessons of Easter Island		
	A Bounce in His Step	14	12: The Sense of Wonder		
8	5: The Great Journey	2	学年末考査		
8	6: An Interview with Steven Spielberg				
8	7: Peter Rabbit and His Home				
7	8: Hello, Dolly!				
2	前期期末考査				

授業科目名	担当教官	学年学科	単位数	必・選	授業形態
English Conversation I	G. A. DAVIES	1年全	6 (1)	Required	1 class per week through the year
教科書・参考書等					
Textbook: <i>Gateways 1 -- Student's Book</i>					
Author: Victoria Kimbrough and Irene Frankel					
Publisher: Oxford University Press					
授業目標・授業方針・学習方法・評価方法等					
<p>The aim of this subject: Is on the listening and speaking needed in everyday practical real world situations.</p> <p>Teaching methods: The principal emphasis of the course is on listening and speaking. However, there are also reading and writing tasks. The students are expected to make use of and practice conversational skill in the classroom. Also I hope it will give them the confidence to speak to English speaking people.</p> <p>Evaluation: Is by the use of tape cassette exercises and fill in sentence completion.</p> <p>What I want the students to study: Is the practical use of English as used in daily life skills.</p>					
授業進度・内容					
時数	First Term	時数	Second Term		
1	Hi	1	Exclamations		
1	Asking and giving information	1	Giving information about location		
1	Contradicting	1	Describing objects		
1	Introducing oneself	1	Asking for and telling the time		
1	Greeting and responding	1	Opening a conversation		
1	Discussing plans	1	Talking about leisure-time activity		
1	Talking about how you feel	1	Reading travel brochures		
1	Verifying information	1	Asking for repetition		
1	Numbers and telling time	1	Making/accepting suggestions		
1	Describing things	1	Mailing letters and packages		
1	Offering and refusing help	1	Inviting and declining		
1	Thanking and responding	1	Apologizing		
1	Telephone numbers	1	Expressing surprise		
1	Addresses	1	Understanding health care		
1	Offering and accepting	1	Common drugstore items		
1	Term Examination	1	Term Examination		

授業科目名	担当教官	学年学科	単位数	必・選	授業形態
国語	金芳憲雄 村田秀明 村田由美	2全	3	必	週3時間通年
教科書・参考書等					
教科書：「新国語II 改訂版」平岡敏夫 大修館書店					
授業目標・授業方針・学習方法・評価方法等					
<p>授業目標：1年で身につけた知識や言語感覚、論理的な思考力や文学的な感受性に、さらに広がりや深み、正確さや柔軟性を加える。</p> <p>授業方針：評論、随筆、小説、物語、詩歌、俳諧等、いろいろなジャンルの文章をさまざまな方法で読み解く。また、国語の常識、特に言語的要素を習得させる。</p> <p>学習方法：週3時間を現代文2、古典1の配当で学習する。</p> <p>評価方法：4回の定期試験を中心に、平常の小テスト、課題の提出状況等を含めて総合的に評価する。</p>					
授業進度・内容					
前 期			後 期		
6	現代文	随想	6	現代文	小説(二)
6	〃	小説(一)	7	〃	評論(二)
2	古文	土佐日記	4	〃	短歌・俳句
4	漢文	中国の史話	4	古文	大鏡
			3	漢文	中国の思想
2	前期中間試験		2	後期中間試験	
6	現代文	評論(二)	7	現代文	小説(三)
6	〃	詩	8	〃	評論(三)
4	〃	言葉と表現	5	古文	近世の文学
4	古文	今昔物語集・枕草子			
4	漢文	中国の文学			
2	前期末試験		2	学年末試験	

授業科目名	担当教官	学年学科	単位数	必・選	授業形態
政治経済	時松雅史	2全	1	必	週1時間通年
教科書・参考書等					
教科書：『政治・経済』都留重人ほか 実教出版 プリント資料配布					
授業目標・授業方針・学習方法・評価方法等					
<p>授業目標：現在ロシアをはじめとする旧社会主義諸国では市場経済化が進みつつある。こうした市場経済を支える基本的な仕組みを理解する。さらに日本経済の動きを世界経済との関連の中で学ぶ。</p> <p>授業方針：教科書、プリントを丁寧に読み、見ていく。経済統計を扱う機会が多いので統計に現れる数字の背景、意味を理解していく。</p> <p>学習方法：授業中に出てきた用語をその日のうちに整理する。教科書、ノート丁寧に読み、理解する。</p> <p>評価方法：定期試験を重視する。また授業ノートも評価の参考にする。</p>					
授業進度・内容					
時数	前 期		時数	後 期	
3	現代経済のしくみ 1. 市場の働き		4	国民経済と国際経済 5. 国際経済の原理	
3	2. 現代の企業		4	6. 国際経済の展開と現状	
5	3. 金融と財政の役割		3	7. 世界経済の中の日本	
4	4. 景気変動と経済成長 前期末試験		4	8. 日本の農業と食料問題 学年末試験	

授業科目名	担当教官	学年学科	単位数	必・選	授業形態
歴史(地歴)	佐藤伸二	2全	2	必	週2時間通年
教科書・参考書等					
教科書：『改訂 日本史』 尾藤正英他 東京書籍 『世界の歴史』 神田信夫他 山川出版					
授業目標・授業方針・学習方法・評価方法等					
<p>授業目標：日本が東アジア諸国とどのようにかかわって来たかを理解させ、今後のかわり方について考えさせる。</p> <p>授業方針：中国を中心とした東アジアの国際社会の特質(冊封体制)を理解させる。江戸時代の対外関係について正しく理解させる。これらを踏まえて、明治以降の日本の動き(脱亜入欧)について考えさせる。</p> <p>学習方法：話をよく聞く。教科書にある地図や年表を見て、おおまかな時代の流れを頭に入れる。</p> <p>評価方法：年4回の定期試験の結果を軸に評価する。</p>					
授業進度・内容					
時数	前期	時数	後期		
5	1. 日本列島の形成と日本人の起源 (イ) 更新世の日本列島 (ロ) 気候の温暖化と縄文文化 (ハ) 日本人の起源についての諸説	8	4. ヨーロッパ人のアジア進出と日本の対応 (イ) 地理上の発見とイエズス会の活動 (ロ) 秀吉・家康の対外政策		
10	2. 古代東アジア世界と日本 (イ) 秦・漢帝国と弥生文化 (ロ) 邪馬台国の位置 (ハ) 騎馬民族の活動と朝鮮半島の情勢 (ニ) 渡来人と古墳文化 (ホ) 隋帝国の朝鮮半島政策と推古期 (ヘ) 唐帝国の朝鮮半島政策と遣唐使	10	5. 江戸時代の日本とヨーロッパ (イ) 南蛮人と紅毛人 (ロ) 吉宗の政策と蘭学の発展 (ハ) ヨーロッパ列強のアジア進出 (ニ) ロシアの進出と北方探検 (ホ) 開国と幕末の政変 後期中間試験		
1	前期中間試験	1			
14	3. 中国経済の発達と中世の日本 (イ) 宋王朝の政治と経済の発達 (ロ) 日宋貿易 (ハ) 元 (ニ) 日明貿易 (ホ) 琉球王国の発展	12	6. 日本の近代化と東アジア (イ) 琉球処分 (ロ) 条約改正 (ハ) 日清戦争 (ニ) 日露戦争 (ホ) 日本人のアジア観 (ヘ) 第1次世界大戦 (ト) 満州事変		
1	前期末試験	1	学年末試験		

授業科目名	担当教官	学年学科	単位数	必・選	授業形態
数学	元田康夫 小原康博 五十川諒 小鉢暢夫	2全	6(4)	必	週4時間通年
教科書・参考書等					
教科書：「新編 高専の数学2」 田代嘉宏 難波完爾 森北出版 問題集：「新編 高専の数学2問題集」 田代嘉宏 森北出版					
授業目標・授業方針・学習方法・評価方法等					
<p>授業目標・方針：「高専の数学2」の第2章 微分法までおよび第3章の不定積分の一部を習得する。必要事項の説明が終わると教科書および問題集の問題解きを主体に授業が進められる。</p> <p>学習方法：微分の概念をしっかりと把握し、その手法になれること。問題解きを十分に理解を深めること。進度は少しずつではあるが、常に新しい概念が導入されるので、その都度充分な理解を示すよう努力しよう。</p> <p>評価方法：主に各種の試験(4回の定期試験、春季および夏季試験、その他各教官が行う試験)で評価を行うが、レポートの提出状況、出席状況、授業態度等も加味する。</p> <p>必要な予備知識：1年で習った初等関数の基本的性質を充分に理解しておくこと。 WiStar：数学教室は学生の積極的な質問を待っています。</p>					
授業進度・内容					
時数	前期	時数	後期		
18	1章 数列 1-1 数列とその和	10	6 対数関数・指数関数・三角関数の導関数		
10	2 無限数列	12	7 導関数の応用		
2	2章 微分法 3 整式の導関数(関数の極限値)	8	3章 積分法 8 不定積分(不定積分・置換積分法・部分積分法)		
2	前期中間試験	2	後期中間試験		
8	3 整式の導関数(微分係数・導関数・接線)	4	8 不定積分(いろいろの関数の不定積分)		
10	4 関数の増減	10	9 定積分		
12	5 いろいろの関数の導関数	10	10 定積分の応用		
2	前期末試験	6	11 場合の数		
		2	学年末試験		



授業科目名	担当教官	学年学科	単位数	必・選	授業形態
数 学	野入 隆 川崎信夫	2 全	6 (2)	必	週2時間通年
教科書・参考書等					
教科書：「新編 高専の数学1」 田代嘉宏 難波完爾 森北出版 「新編 高専の数学2」 田代嘉宏 難波完爾 森北出版 問題集：「新編 高専の数学1 問題集」 田代嘉宏 森北出版 「新編 高専の数学2 問題集」 田代嘉宏 森北出版					
授業目標・授業方針・学習方法・評価方法等					
<p>授業目標・方針：代数系列を習い空間図形とベクトルまでを習得する。1次曲線、2次曲線の基本的事項を講義し、平面および空間図形の基本的性質をベクトルを用いて取り扱う。</p> <p>学習方法：ベクトルを用いて、図形の取扱が出来るようにし、幾何学的イメージを養うようにすること。具体的な問題を解くことにより理解を深めること。</p> <p>評価方法：主に各種の試験（4回の定期試験、春季および夏季試験、その他各教官が行う試験）で評価を行うが、レポートの提出状況、出席状況、授業態度等も加味する。</p>					
授業進度・内容					
時数	前 期	時数	後 期		
8	「高専の数学1」 6章 平面上の図形とベクトル 1 4 点と直線	4	1 7 ベクトル (内積)		
6	1 5 円とその他の2次曲線 (円・楕円)	4	1 8 図形とベクトル		
2	前期中間試験	6	「高専の数学2」 5章 空間の図形とベクトル 1 2 空間の図形とベクトル		
5	1 5 円とその他の2次曲線 (双曲線・放物線・2次曲線)	2	後期中間試験		
4	1 6 不等式と領域	6	1 2 空間の図形とベクトル (内積)		
5	1 7 ベクトル	8	1 3 空間図形の方程式		
2	前期末試験	2	学年末試験		

授業科目名	担当教官	学年学科	単位数	必・選	授業形態
物 理	北辻 安次 吉沖 周三	2 全	4	必修	週4時間通年
教科書・参考書等					
教科書：「新編物理I B」 近角聡信他著 東京書籍 問題集：「ニューアシスト物理I B」 東京書籍編 東京書籍 「ニューパーフェクト物理I B」 東京書籍編 東京書籍					
授業目標・授業方針・学習方法・評価方法等					
<p>授業目標：力学、熱、波動に関する基礎的項目の理解と習得を目指す。</p> <p>授業方針：使用する教科書に沿って授業を行うが、適宜、実験を演示することにより理解をうながす。また、学生自身による実験も進度に応じて実施する。項目の進度に応じて教室で問題解答例と添削を行う。</p> <p>学習方法：受講者は、教科傍用の問題集を利用して、各自ですすんで自宅学習を行うことが必要不可欠である。授業においては、物理的概念の把握を目標とするので、復習、問題解答、実験及び観察を通じてそれらを自分のものとするように自ら努力する。</p> <p>評価方法：年4回の定期テストで主に学習及び習得度の評価を行うが、その他に随時行うテストや、実験レポート、感想文などの提出物の評価及び授業参加の態度などの平常の評価も加えて総合的に評価を行う。</p>					
授業進度・内容					
時数	前 期		時数	後 期	
4	・力学・ 等速直線運動		4	・熱と波動・ 温度と熱、比熱と熱容量	
4	速度の合成と分解		2	ボイルシャルルの法則	
4	速度と加速度、等加速度運動		2	熱の仕事当量	
4	落下運動		4	内部エネルギー、断熱変化	
4	力の合成と分解		4	円運動と単振動	
4	力のつり合い		4	波動と正弦波	
6	運動の法則		2	縦波と横波	
2	前期中間テスト		4	重ね合わせの原理と干渉	
4	摩擦のある運動		4	波の反射・屈折・回折	
4	運動量と力積		2	後期中間テスト	
6	運動量保存法則		4	音速・音波の性質、うなり	
4	仕事、仕事率		4	弦の振動と気柱の振動	
4	運動エネルギー・位置エネルギー		4	共鳴と共振	
4	力学的エネルギー保存法則		4	ドップラー効果	
4	保存力と非保存力		4	光速、光の反射・屈折	
2	前期末テスト		4	光の干渉、ヤングの実験	
			4	回折格子、薄膜による干渉	
			2	光のスペクトル、レンズの公式	
			2	学年末テスト	

授業科目名	担当教官	学年学科	単位数	必・選	授業形態
保健体育	宅島 章 四宮一郎 粟谷 教	2全	2	必	週2時間通年
教科書・参考書等					
教科書：プリント資料配布					
授業目標・授業方針・評価方法・学習方法等					
<p>授業目標：集団における指導性はもちろん、発育段階に応じた基礎的体力の向上と基礎的技術の習得を目指す。また演習も取り入れ、運動の実践を通して自己に効果的な運動の方法を学び、自己の体力についての評価ができるようにする。</p> <p>授業方針：個々における運動種目については運動技術の習得だけでなく、基礎的体力の向上を目指し、身体活動量が豊富な授業を展開する。また、実技および演習ではレポートの提出を課す。 定められた体育服、体育館シューズ以外の着用は認めない。また、危険防止のためピアス、指輪、ネックレス等の装身具類の着用も禁止する。</p> <p>評価方法：運動種目ごとに評価を行うが、出席状況、レポートの提出状況、授業への積極的参加および貢献度等も総合して評価する。なお、出席時間不足の者については学年評価はしない。</p>					
授業進度・内容					
時数			時数		
18	1期 1班 トレーニング実践Ⅱ 2班 手具体操・救急法 3班 テニス	担当者 宅 島 粟 谷 四 宮	18	3期 1班 テニス 2班 トレーニング実践Ⅱ 3班 手具体操・救急法	担当者 四 宮 宅 島 粟 谷
6	全 水 泳	全教官			
18	2期 1班 手具体操・救急法 2班 テニス 3班 トレーニング実践Ⅱ	担当者 粟 谷 四 宮 宅 島			

授業科目名	担当教官	学年学科	単位数	必・選	授業形態
音楽	牧 智信	2全	1	必	週1時間通年
教科書・参考書等					
教科書：学生のための「音楽と鑑賞」 市川都春・滝本泰三 教育芸術社 資料：自作プリント資料 「音楽史による作曲家と時代背景」					
授業目標・授業方針・学習方法・評価方法等					
<p>授業目標：音楽の美しさ楽しさにふれ、音楽鑑賞から得た体験をどうして、これからの生活に潤いが生まれ、生涯学習の一助となる知識と感性を養う。</p> <p>授業方針：音楽史と大作曲家による名曲鑑賞を主内容とし、名曲の鑑賞を通して音楽家に親しみ、その生涯と時代背景などを理解しながら多面的な学習を行う。</p> <p>学習方法：名曲鑑賞を毎時実施する。音楽史をひもときながら、各時代を代表する作曲家の生涯や作品（歌曲・ピアノ曲・器楽曲・交響曲等のジャンル別の分類や特徴）を音楽や映像を通して理解を深める。</p> <p>評価方法：学年末試験を行うとともに、レポートの提出、授業への参加、関心、態度等を加味して評価を行う。</p>					
授業進度・内容					
時数	前期	時数	後期		
1	1. 音楽の基本事項 音楽史の概念と音楽表現や鑑賞における基本事項の理解	7	5.	ロマン派前期の音楽 シューベルト、ワーバー、ロッシニー、メンデルスゾーン、ショパン、シューマン、リスト	
2	2. 中世・16世紀の音楽 グレゴリオ聖歌 ルネサンスと教会音楽	6	6.	ロマン派後期・国民学派の音楽 ワーグナー、ベルディ、ピゼー、J. シュトラウス、ブラームス、スメタナ、チャイコフスキー、ドボルザーク、グリーグ、サンサーンス、ドビュッシー、ほか	
5	3. バロックとロココ音楽 バーセル、ビバルディ、バッハ、タルティーニ、ヘンデル				
9	4. 古典派の音楽 ハイドン、モーツァルト、ベートーベン	4	7.	近世・現代の音楽 ラベル、ストラビンスキーほか 民族音楽と国際理解	

授業科目名	担当教官	学年学科	単位数	必・選	授業形態
英語 II (総合英語)	山田 章 則 宇ノ木 寛 文	2年全	5 (4)	必	週4時間通年
教科書・参考書等					
教科書: 『Unicorn II』		末永国明他		文英堂	
問題集: 『Unicorn II Workbook』				文英堂	
『Prospect II』				桐原書店	
参考書:		『高校英語』		浅野博, 水江彰一	
『標準英単語 フォーカス 3000』		現代英語研究会		啓林館	
『Anne of Green Gables』				Oxford U.P.	
『The Star Zoo』				Oxford U.P.	
授業目標・授業方針・学習方法・評価方法等					
<p>授業方針: 「英語 I」で習得した4技能にわたる基礎・基本的能力の充実を図り、発信型の英語運用能力を伸ばさせることを目指す、あわせて自立した学習習慣を定着させる。</p> <p>授業方針: 「英語 I」における授業方針を更に発展した形式で行う。平素の授業においては、学生の授業での積極的な言語活動への参加を重視する。その一環としての身近な話題についての言語活動を引き続き行い、定期考査や長期休暇中の課題でも扱う。長期休暇中には、英語の読み物を課題として与える。また単語力増強のための指導や、総合問題集による指導も随時行う。各長期休暇後にはそれらをもとに課題テストを実施する。3年生進級の際には、全員が実用英語検定準2級の資格を取得できることを望む。</p> <p>評価方法: 授業への積極的参加と、クラス全体の学習の深化に貢献する質問や言語活動への取り組みを高く評価する。そして、授業中の取り組み状況、定着度確認テスト、授業外で取り組む課題、加えて、定期考査を総合して評価する。</p> <p>オフィスアワー: 毎週木曜日15:00~17:00</p>					
授業進度・内容					
時数	前 期	時数	後 期		
7	1: The Land of Two seasons	9	8: An Irish Halloween		
7	2: A Sri Lankan Student in Japan	9	9: Ulysses		
8	3: Beyond Closed Windows	9	10: I Believe		
8	4: Consumerism	2	後期中間考査		
2	前期中間考査	10	11: I Am a Dancer		
9	5: Bless My Homeland Forever!	10	Blackberries		
9	6: Tea	2	学年末考査		
10	7: The March to Freedom				
2	Let Freedom Ring!				
2	前期期末考査				

授業科目名	担当教官	学年学科	単位数	必・選	授業形態
English Conversation II	G. A. DAVIES	2年全	5 (1)	Required	1 class per week through the year
教科書・参考書等					
Textbook: <i>Gateways 2 -- Student's Book</i>					
Author: Victoria Kimbrough and Irene Frankel					
Publisher: Oxford University Press					
授業目標・授業方針・学習方法・評価方法等					
<p>The aim of this subject: Is to develop the practical use of English conversational skills. To direct the students' attention to essential information in the conversation and let them know they can get the gist of a conversation without knowing every word.</p> <p>Teaching methods: Consists of a variety of oral-exchange exercises, fill-in exercises, completion exercises and written exercises based on authentic tasks. These are followed by exercises that personalize the practice.</p> <p>Evaluation: Is by the use of tape cassette exercises, fill in exercises and sentence completion.</p> <p>What I want the students to study: Is the practical use and skills of English conversation in everyday authentic tasks such as seeking and using transportation, housing and employment.</p>					
授業進度・内容					
時数	First Term	時数	Second Term		
1	Time expressions	1	Comparing and contrasting		
1	Apologizing and accepting an apology	1	Giving and responding		
1	Complimenting	1	Putting events in order		
1	Asking for and giving information	1	Making inference		
1	Correcting a statement	1	Asking to borrow something		
1	Expressing an opinion	1	Comparing		
1	Making, fulfilling and refusing requests	1	Expressing an opinion		
1	Guessing the meaning of words from context	1	Thanking		
1	Negative questions	1	Apologizing and making an excuse		
1	Confirming information	1	Describing symptoms		
1	Questioning a situation	1	Giving advice		
1	Understanding the order of events	1	Reporting impressions		
1	Asking about quantities	1	Describing		
1	Discussing an event	1	Talking about jobs		
1	Making plans	1	Talking about intentions		
1	Term Examination	1	Term Examination		

授業科目名	担当教官	学年学科	単位数	必・選	授業形態
生物学	原 嶋 修 一	2B	2	必	週2時間通年
教科書・参考書等					
教科書：生物ⅠB（第一学習社） 参考書：増補 最新図表生物（浜島書店）					
授業目標・授業方針・学習方法・評価方法等					
授業目標：生物に関する基本的知識を身につけ、生命について理解する。					
授業方針：高等学校での「生物」の内容に準拠し、生物学の基本的事項を講義する。 生命の基本単位である細胞の構造を理解させ、生命の連続性を支える生殖と発生、生命活動の源である物質代謝について講義する。遺伝現象および生物工学に必要な遺伝子発現についてその概略を理解させる。さらに、生物の進化や生態についても簡単にふれる。					
学習方法：毎回、必ず復習すること。復習は短時間で済むので授業した部分については必ず復習し理解につとめること。					
評価方法：定期試験で評価する。レポートや授業態度も加味する。					
授業進度・内容					
時数	前 期	時数	後 期		
2	1. 「生物学」の学習にあたって	6	7. 物質代謝		
		4	同化～光合成・窒素同化		
4	2. 生命の基本単位—細胞	2	異化～酵素呼吸・無気呼吸		
	細胞の構造、細胞小器官のはたらき		エネルギーの利用		
4	3. 細胞分裂	4	8. 遺伝		
	体細胞分裂と減数分裂		メンデルの遺伝の法則		
4	4. 生殖	2	後期中間試験		
	無性生殖と有性生殖	2	遺伝子と染色体		
2	配偶子形成と受精	2	変異		
	生物の生活環		9. 遺伝子と形質発現		
	前期中間試験	2	遺伝子の本体		
3	5. 動物の発生・その過程	4	遺伝情報の発現		
	発生のしくみ	3	10. 生物の進化		
2	植物の発生	3	11. 生物の生態		
	6. 生体内の化学反応		学年末試験		
2	生体構成物質				
6	酵素の性質と酵素反応				
	前期末試験				

授業科目名	担当教官	学年学科	単位数	必・選	授業形態
地 学	平晋一郎	2MEC	2	必	週2時間通年
教科書・参考書等					
教科書：「地学ⅠB」 海野和太郎、上田誠也、鎮西清高ほか9名 東京書籍					
授業目標・授業方針・学習方法・評価方法等					
授業目標：宇宙の構成や太陽系の運動、地球の歴史と地球表面の諸現象の基礎的な知識を習得し、地球環境保全や災害防止に対する科学的な思考能力を養う。					
授業方針：地学の特質を理解させるために、できるだけ具体的な事例を取り上げ、正しい自然観を育成させる。					
学習方法：気象、天文、地震、火山などの自然現象に常に関心と疑問を持ち、学習したことと照らし合わせてみるのが大切である。					
評価方法：主に4回の定期試験で評価を行なうが、レポートの提出状況、授業態度等も加味する。					
授業進度・内容					
時数	前 期	時数	後 期		
6	1. 地球の形と内部構造	8	5. 循環する大気と海		
8	2. 動く大地	6	6. 惑星の運動		
2	前期中間試験	2	後期中間試験		
6	3. プレーートのきしみ	8	7. 太陽と恒星の世界		
8	4. 火山の噴火とマグマの活動	6	8. 宇宙、地球、われら人類		
2	前期末試験	2	学年末試験		

授業科目名	担当教官	学年学科	単位数	必・選	授業形態		
国語	村田秀明	3全	2	必	週2時間通年		
教科書・参考書等							
テキスト等：自主教材							
授業目標・授業方針・学習方法・評価方法等							
<p>学習目標：(1) 種々のジャンル、種々のタイプの文章に触れ、幅広い読解力を身につける。  (2) 社会人として必要な実用国語を身につける。  (3) 言いたいことをきちんと表現できる作文力を身につける。</p> <p>授業方針：演習とその確認を中心に行う。</p> <p>学習方法：受け身にならず、自らすすんで積極的にアプローチしよう。  その際、次のことを行うこと。  (1) 自ら疑問を抱き、自ら解を求める。  (2) 疑問から解に至るプロセスを(試行錯誤したことの全てを含めて)確認する。  (3) 自分の疑問の持ち方、解への方法、解の内容等の全てについて、妥当であったか否かをきちんと見極める。</p> <p>評価方法：年4回の定期試験の成績及び平常の試験や提出物の成績を総合して行う。</p>							
授業進度・内容							
前 期			後 期				
時数	読解その他	国語表現	漢字等	時数	読解その他	国語表現	漢字等
1 2	評論を読む	表現と理解 話すこと 聞くこと 文章を書く 主題	教育漢字を 習得する	4	小説を読む	種々の文章 を書く 手紙 記録/報告 説明/論説	常用漢字を 習得する
2	随筆を読む			1 2	韻文を読む 詩・短歌 俳句		
2	前期中間試験			2	後期中間試験		
8	随筆を読む	文章を書く 主題 文章の構成 推敲	教育漢字を 習得する	1 4	シナリオを 読む 戯曲 落語	種々の文章 を書く 説明 論説 その他	同音異義語 同訓異字語 故事成語 その他を 習得する
8	小説を読む						
2	前期末試験			2	学年末試験		

授業科目名	担当教官	学年学科	単位数	必・選	授業形態	
倫理	小林幸人	3全	2	必	週2時間通年	
教科書・参考書等						
必要に応じて、印刷物を配布する。 参考文献については、講義の中で紹介する。						
授業目標・授業方針・学習方法・評価方法等						
<p>授業目標・方針：倫理学とは、「人の理」を追求する学問であり、問をたてる人間そのものが対象となるという特殊性を持つ。従って、他ならぬ我々自身を深く内省するとともに、我々の置かれている歴史的な脈絡そのものを問題としなければならない。「正しく問うことは、正しく知ることであり」という言葉に従い、正しく問うために、この講義では、思想史を通じ、様々な考え方を理解し、自らの問題を考察することを目標とする。</p> <p>学習方法：講義を聞き、しっかりとノートをとる。 様々な思想をただ覚えるのではなく、その思考過程を追体験することを心がける。</p> <p>評価方法：授業態度、試験、ノート、レポート等で評価する。 試験は論述式で行う予定。</p>						
* 授業進度は一応の目安。適宜、質問等に応じて問題を取り上げる						
授業進度・内容						
時数				時数		
6	ガイダンス・倫理学とは何か 倫理と道徳 倫理と哲学 倫理学の問のたてかた			1 0	西洋思想(近代) カントの義務論的倫理学 功利主義倫理学	
1 6	西洋思想(古代) 古代ギリシアの倫理思想 ソクラテス プラトン アリストテレス			8	現代の倫理学 リベラリズムと共同体論	
6	西洋思想(中世) スコラ哲学の倫理思想			1 4	応用倫理学 自律の倫理学 科学技術と倫理 環境倫理 生命倫理 個人と社会の関わり方 その他、余裕があれば様々な問題を 取り扱いたい	

授業科目名	担当教官	学年学科	単位数	必・選	授業形態
数 学	野入 隆 元田康夫 小原康博 小鉢暢夫	3全	6(4)	必	週4時間通年
教科書・参考書等					
教科書：「新編 高専の数学3」 田代嘉宏 難波完爾 森北出版 問題集：「新編 高専の数学2 問題集」 田代嘉宏 森北出版 「新編 高専の数学3 問題集」 田代嘉宏 森北出版					
授業目標・授業方針・学習方法・評価方法等					
<p>授業目標：前期で平均値の定理からテイラーの定理までをまず習得し、いろいろの不定積分を習得する。後期で定積分の応用および偏微分と重積分を習得する。</p> <p>学習方法：進度はゆっくりのようでも、まず確実に新しい知識が説明されるし、前に習った内容と関連があるので、消化不良を起こさないように予習・復習をしっかりとすること。特に問題を沢山解くことが大事である。</p> <p>評価方法：主に各種の試験（4回の定期試験、春季および夏季試験、その他各教官が行う試験）で評価を行うが、レポートの提出状況、出席状況、授業態度等も加味する。</p> <p>必要な予備知識：1年で習った初等関数の基本的性質および2年で習った微分法・積分法の基本的性質を十分に理解しておくこと。            ノー：数学教室は学生の積極的な質問を待っています。</p>					
授業進度・内容					
時数	前 期	時数	後 期		
14	1 章 微分法 1 平均値の定理	16	5 定積分とその応用		
16	2 逆関数とその導関数	14	3 章 偏微分と積分 6 偏導関数		
2	前期中間試験	2	後期中間試験		
12	3 テイラーの定理	12	7 偏導関数の応用		
18	2 章 積分法 4 いろいろな関数の不定積分	8	8 重積分		
		10	9 極座標と積分		
2	前期末試験	2	学年末試験		

授業科目名	担当教官	学年学科	単位数	必・選	授業形態
数 学	五十川 誠 小鉢暢夫	3全	6(2)	必	週2時間通年
教科書・参考書等					
教科書：「新編 高専の数学2」 田代嘉宏 難波完爾 森北出版 「新編 高専の数学3」 田代嘉宏 難波完爾 森北出版 問題集：「新編 高専の数学2 問題集」 田代嘉宏 森北出版 「新編 高専の数学3 問題集」 田代嘉宏 森北出版					
授業目標・授業方針・学習方法・評価方法等					
<p>授業目標：前期で行列と行列式の基本的事項を、後期で行列の固有値と対角化および微分方程式を習得する。</p> <p>学習方法：週1回しか講義がないから、特に実行して欲しいのは習った所はすぐに問題を解くようにし、わからない所を残さないようにしておくこと。</p> <p>評価方法：主に各種の試験（4回の定期試験、春季および夏季試験、その他各教官が行う試験）で評価を行うが、レポートの提出状況、出席状況、授業態度等も加味する。</p> <p>必要な予備知識：2年で習った平面や空間の図形とベクトルの基本的な定理や公式を十分に理解しておくこと。最後に微分方程式もやるので不定積分の計算が出来るようになっておくこと。            ノー：数学教室は学生の積極的な質問を待っています。</p>					
授業進度・内容					
時数	前 期	時数	後 期		
8	「高専の数学2」 章 14 行列	8	17 行列の固有値と対角化		
6	15 1次変換 (1次変換、1次変換の積)	6	「高専の数学3」 章 10 1階微分方程式 (変数分離形、同次形)		
2	前期中間試験	2	後期中間試験		
4	15 1次変換 (1次変換の逆行列)	4	10 1階微分方程式 (線形微分方程式、完全微分方程式)		
10	16 行列式	10	11 2階微分方程式		
2	前期末試験	2	学年末試験		

授業科目名	担当教官	学年学科	単位数	必・選	授業形態
保健体育	宅島 章 四宮一郎 高見信義 河野宗夫	3全	2	必	週2時間通年
教科書・参考書等					
教科書：「ヘルス&フィットネス」 増田卓二 他 ナカニシヤ出版					
授業目標・授業方針・評価方法・学習方法等					
<p>授業目標：集団における指導性はもちろん、発育段階に応じた基礎的体力の向上と基礎的技術の習得を目指す。また、運動の実践を通して自己に効果的な運動の方法を学び、自己の体力についての評価ができるようにする。</p> <p>授業方針：個々における運動種目については運動技術の習得だけではなく、基礎的体力の向上を目指し、身体活動量が豊富な授業を展開する。また、運動種目ごとにレポートの提出を課すこともある。定められた体育服、体育館シューズ以外の着用は認めない。また、危険防止のため装身具類の着用も禁止する。</p> <p>評価方法：運動種目ごとに評価を行うが、出席状況、レポートの提出状況、授業への積極的参加および貢献度等を総合して評価する。なお、出席時間不足の者については原則として学年評価はしない。</p>					
授業進度・内容					
時数			時数		
1 6	1期 1班 バレーボール 2班 テニス 3班 バスケットボール 女子 サッカー	担当者 高見 四宮 河野 宅島	1 4	3期 1班 バスケットボール 2班 サッカー 3班 バレーボール 女子 テニス	担当者 河野 宅島 高見 四宮
1 4	2期 1班 テニス 2班 バスケットボール 3班 サッカー 女子 バレーボール	担当者 四宮 河野 宅島 高見	1 6	4期 1班 サッカー 2班 バレーボール 3班 テニス 女子 バスケットボール	宅島 高見 四宮 河野

授業科目名	担当教官	学年学科	単位数	必・選	授業形態
英語 III A	福島 寛 松田 由美	3年全	5 (2)	必	週2時間通年
教科書・参考書等					
教科書：『One World』 赤祖父哲二 教育出版 問題集：『Support標準英文法』 桐原書店 参考書：『Productive新高校英語』 第一学習社 『Productive新高校英文法』 第一学習社 『完全征服2基礎英単語・熟語』 桐原書店 『Folk Legends of Kumamoto』 私家版（塚本俣巳） 白ホメディア株式会社					
授業目標・授業方針・学習方法・評価方法等					
<p>授業目標：英語で「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の4つのコミュニケーション能力について、基本的な技能・知識の習熟と完成を図る。また、応用・発展的な各領域の技能・知識を伸長する。</p> <p>授業方針：「読み取り・聞き取り」についてだけでなく、表現の指導も行う。学生の授業中の積極的な言語活動への参加を重視し、その一環として身近な話題などについての言語活動を課す。定期考査や、長期休暇中の宿題の中でも扱う。長期休暇中には、英語の読み物を課題として与える。また、単語力増強のための指導や、総合問題集による指導も随時行う。各長期休暇後には、それらをもとに課題テストを実施する。</p> <p>評価方法：授業への積極的な参加と、クラス全体の学習の深化に貢献する質問や言語活動への取り組みを高く評価する。そして、授業中の取り組み状況、定着度確認テスト、授業外で取り組む課題、加えて、定期考査を総合して評価する。</p>					
W/T/S/R：木曜日（3.00～5.00p.m.）、その他随時。					
授業進度・内容					
時数	前 期	時数	後 期		
14	1: The First Artists 2: Journeys in Time and Space 3: Living with Nature	14	7: "Can You Eat Sushi?" 8: Long Walk to Forever 9: How Magic Helped a Blind Girl See		
2	前期中間考査	2	後期中間考査		
14	4: Sexist Language 5: How to Let Other Boys Whitewash a Fence 6: Iwo Jima-Two Generations Later	14	10: Moshiwake Arimasu 11: How Important Are Trees? 12: Whose English? Which English?		
2	前期期末考査	2	学年末考査		

授業科目名	担当教官	学年学科	単位数	必・選	授業形態
英語 III B	関 文雄	3年全	5 (2)	必	週2時間通年
教科書・参考書等					
教科書: 『The Real World: Problems and Prospects』 塩川春彦 桐原書店					
授業目標・授業方針・学習方法・評価方法等					
<p>授業目標: 英語で「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の4つのコミュニケーション能力の基礎的領域について、統合的に運用できるようになることを目指す。</p> <p>授業方針: 「環境問題」や「国際社会」の諸問題を英語で読み、世界の現状についての認識を深め、自分の考え、意見を英語をで言えるようにする。</p> <p>学習方法: 予習がなされていることを前提に授業を進める。単語力増強のための小テストや、諸問題についての意見を聞くためのレポートを課す。</p> <p>評価方法: 授業への積極的な参加、クラス全体の学習の深化に貢献する質問、また言語活動への真剣な取り組みを高く評価する。授業中の取り組み状況、定着度確認テスト、授業外で取り組む課題、加えて定期考査を総合して評価する。</p>					
授業進度・内容					
時数	前 期	時数	後 期		
1	Keyword, Key Concept	3	12: What are North-South Issue?		
3	1: Our Place in the World	1	Keyword, Key Concept		
3	2: Is There Any Clean Alternative Energy?	3	13: Reform in Eastern Europe: An Overview		
3	4: Humans vs. Wildlife	3	14: The Roles of the United Nations in the New World Order		
3	5: Do the Japanese Love Nature?	3	16: Globalism and Regionalism		
2	前期中間考査	3	後期中間考査		
1	Keyword, Key Concept	1	Keyword, Key Concept		
3	7: Two Faces of Japanese Industry	3	17: Let Japan Choose Peace		
3	8: Is Japan an Affluent Society?	3	18: 2500 Warheads Still Too Many		
3	9: Reading Working Hours and Economic Prosperity	3	19: Difficulties of Disarmament		
3	11: The Food Problem as a North-South Issue	3	20: Industry and Military Use of Nuclear Technology		
2	前期期末考査	2	学年末考査		

授業科目名	担当教官	学年学科	単位数	必・選	授業形態
English Conversation III	Gail Braybrooks	3年全	5 (1)	Required	1 class per week through the year
教科書・参考書等					
Textbook: <i>Let's Speak</i>					
Author: Bev Kusuya, Naoko Ozeki, Kevin Bergman					
Publisher: Lingual House					
授業目標・授業方針・学習方法・評価方法等					
Goal: To learn English for travel and conversation with English-speaking friend					
Method: Topic-centered listening and speaking: 2- and 4- person conversation practice.					
Evaluation: Your grade will come from the 1st and 2nd semester tests. If you don't do the speaking lessons in class, you can lose points from your final grade.					
What to study: Understanding what you hear and answering back in English					
Office hours: Time is available for consultation on Wednesdays after 5th hour by appointment.					
授業進度・内容					
時数	First Term		時数	Second Term	
1	Introduction		1	Health/Eye Aloysias	
1	Canada video		1	"Find somebody who ...."	
1	Yatsushiro		1	Crossword Puzzle	
1	Shopping in America		1	Music	
1	Sports and Leisure		1	Treasure Hunt	
2	Cars		1	Dice Poker	
2	Friends		1	Dream House	
1	Love		1	Card Game: "Knock"	
1	Making Plans		1	Women and Men	
1	World Travel		1	4WD Road Race	
1	Life at Kosen		1	Mr. Bean Video	
1	Review		1	"Pictionary" Game	
1	Exam		1	Technology/Time Capsule	
			1	Superstitions/Astrology	
			1	Review	
			1	Exam	



授業科目名	担当教官	学年学科	単位数	必・選	授業形態
保健体育	宅島 章 四宮一郎 高見信義 河野宗夫	4全	2	必	週2時間通年
教科書・参考書等					
教科書：プリント資料配布					
授業目標・授業方針・評価方法・学習方法等					
<p>授業目標：3年次までに習得した基礎的体力・技術を応用し、実践する能力を養う。生涯にわたり自己に適した身体活動を行う習慣を身につけ、余暇を善用する能力を養う。</p> <p>授業方針：授業ではゴルフ、卓球、バドミントンを取り入れ、技術の向上はもちろん、ルールやマナーについての理解も深めさせる。定められた体育服、体育館シューズ以外の着用は認めない。また、危険防止のためピアス、指輪、ネックレス等の装身具の着用も禁止する。</p> <p>評価方法：運動種目ごとに評価を行うが、出席状況、授業への積極的参加、および貢献度も総合して評価する。なお、出席時間不足の者については、原則として学年評価はしない。</p>					
授業進度・内容					
時数			時数		
	1期	担当者		3期	担当者
20	1班 ゴルフ1 ゴルフ2	高見 宅島	20	1班 卓球	河野
20	2班 バドミントン	四宮	20	2班 ゴルフ1 ゴルフ2	高見 宅島
20	3班 卓球	河野	20	3班 バドミントン	四宮
	2期	担当者			
20	1班 バドミントン	四宮			
20	2班 卓球	河野			
20	3班 ゴルフ1 ゴルフ2	高見 宅島			

授業科目名	担当教官	学年学科	単位数	必・選	授業形態
英語 IV (総合英語)	折田 充	4年全	2	必	週2時間通年
教科書・参考書等					
<p>教科書：『Enduring Voices: Memorable Writing from the Human Heart』 英米文化学会英語教育研究部会，編 桐原書店 『Easy Listening: Tasks for Listening &amp; Communication Skills』 David A. Sell セイドー外国語研究所</p> <p>参考書：『チャート式基礎からの総合英語』 数研出版 『標準英単語・熟語3000』 第一学習社</p>					
授業目標・授業方針・学習方法・評価方法等					
<p>授業目標：3年次までに習得した、英語で「聞く」「話す」「読む」「書く」という4つのコミュニケーションの基礎的能力を、さらに応用・発展的領域に伸長させ、統合的な運用ができるようになることを目指す。スピーチ、ディスカッション、ディベート等の活動も取り入れて、このことの習熟を図る。</p> <p>授業方針：講義に加えて、LLでの演習、ペアやグループによるコミュニケーション活動を行う。予習が十分なされていることを前提に授業を進める。題材によっては、授業外の簡単なリサーチワークを課す。単語力増強のための指導や基礎的文法事項の整理のための指導も、3年次までに引き続き随時行う。各長期休暇後には、課題テストを実施する。</p> <p>評価方法：授業への積極的な参加、クラス全体の学習の深化に貢献する質問、また言語活動への真剣な取り組みを高く評価する。授業中の取り組み状況、定着度確認テスト、授業外で取り組む課題、加えて定期考査を総合して評価する。</p>					
※171777：金曜日、3時～5時。ただし、これ以外でも質問等があるときは随時受け付ける。					
授業進度・内容					
時数	前 期		時数	後 期	
4	Speech at the Democratic National Convention		5	Sleep with the Angels	
4	A Man on the Moon		5	A Night to Remember	
5	Silent Spring		5	*I am the greatest*	
2	Anne of Green Gables		2	後期中間考査	
2	前期中間考査		3	Kitchen	
4	Wild Swans		4	The Hot Zone	
4	The Umbrella Man		4	Living in Two Countries	
4	Stay alive, My Son		4	Their Eyes Were Watching God	
3	Be True to Your School		2	学年末考査	
2	前期末考査				

授業科目名	担当教官	学年学科	単位数	必・選	授業形態
文化史	小林幸人	4全	2	選	週2時間通年
教科書・参考書等					
必要に応じて適宜、印刷物を配布 参考文献は、講義の中で紹介する。					
授業目標・授業方針・学習方法・評価方法等					
<p>授業目標・方針：現代社会の中に生きる私たちにとって、意識するしないに関わらず、その行為を規律する法。この講義では、「そもそも法とは何か」という問題関心から、法を哲学的に考察する。様々な問題を、法思想史を概観しながら考察し、私たちと法、そして社会のあり方について、広く考えていきたい。</p> <p>学習方法：講義を聴き、しっかりとノートをとる。 説明を単に覚えるだけでなく、何を問題としようとしているのかという点について理解し、自ら考察することが重要。</p> <p>評価方法：授業態度、試験、ノート、レポート等で評価する。 試験は記述式で行う予定。</p> <p>* 授業進度は一応の目安。その他、質問などに応じて問題を取り扱う</p>					
授業進度・内容					
時数		時数			
6	イントロダクション 「法」とは何か 法を巡る様々な問題	8	法と道徳 法と道徳の関係 法による道徳の強制 パターナリズム論		
6	法の構造 ルールとしての法 法のシステム理論	8	権利と人権 歴史的外観 権利を巡る哲学的問題		
6	法と強制 法的強制と国家権力 現代法における強制の位置づけ	12	法と正義 法と正義の関係 伝統的正義論 現代正義論		
6	法の妥当根拠 法の妥当概念 法の妥当根拠	10	法と国家 近代法と近代市民社会 市民社会論		

授業科目名	担当教官	学年学科	単位数	必・選	授業形態
日本文学	村田秀明 金芳憲雄	4全	2	選	週2時間通年
教科書・参考書等					
テキスト：自主教材					
授業目標・授業方針・学習方法・評価方法等					
<p>授業目標：明治から大正にかけての日本の代表的な小説をとりあげ、多様な表現形式に触れることによって、文学に対する理解と認識を深める。</p> <p>授業方針：すぐれた作品を読むことによって、そこに語られていることを正しくとらえていく過程を積み重ね、近代の小説の読解と鑑賞の力を養いたい。</p> <p>学習方法：作品読解の際、内容を段階的にとらえたり、問題点を引き出したりしながら、作品全体の把握に努める。さらに日本の近代の歴史との関連についても考えていく。他の作品との関連についても押さえていく。</p> <p>評価方法：定期試験とレポート等の成績を総合して行う。</p>					
授業進度・内容					
前 期			後 期		
14	「十三夜」(樋口一葉) 「思出の記」(徳富蘆花) 「草枕」(夏目漱石)	16	「地獄変」(芥川龍之介) 「戒る女」(有島武郎)		
2	前期中間試験	2	後期中間試験		
18	「春」(島崎藤村) 「田舎教師」(田山花袋) 「阿部一族」(森鷗外)	14	「和解」(志賀直哉) 「春琴抄」(谷崎潤一郎)		
2	前期末試験	2	学年末試験		

授業科目名	担当教官	学年学科	単位数	必・選	授業形態
法 学	山中 至	4全	2	選	週2時間通年
教科書・参考書					
教科書：「法の世界へ」 池田真朗ほか 有斐閣 1966 参考書：授業の際に案内					
授業目標・授業方針・学習方法・評価方法等					
<p>授業目標：現代社会の中で生起するさまざまな問題を「法」という眼でみつめるための基礎理論を提供することを目標にします。</p> <p>授業方針：社会生活・家庭生活・職業生活で最低限知っておきたい法律知識や考え方を、日常身近な問題との関わりの中でわかりやすく解説します。</p> <p>学習方法：「覚える」のではなく「自分で考える」学習を心掛けて下さい。</p> <p>評価方法：主として、論述式の定期試験により講義内容の理解度を判断、評価します。</p>					
授業進度・内容					
時数	前 期	時数	後 期		
8	1 日常生活と契約 契約と民法、 意思表示と契約主体の能力、 契約自由の原則と典型契約、 所有権の移転、連帯保証	8	5 日本国憲法と人権 自己決定権、プライバシー権、 生存権、裁判を受ける権利、 外国人の人権		
8	2 日常生活とアクシデント 不法行為と民法・自賠法、 医療行為とインフォームド・コンセント、 製造物責任、訪問販売法・割賦販売法	6	6 企業と法 株式会社、商人、株主、取締役、 株式市場、インサイダー取引、 手形と小切手		
6	3 雇用と法 労働基準法、労働契約、 労使協定、就業規則、労働協約 労働関係の多様化、労災補償	8	7 紛争の解決 民事責任と刑事責任、裁判制度、 和解・調停・仲裁		
8	4 家族関係 夫婦、親子、扶養と相続、 社会保障と公的扶助	8	8 法とは何か 法と道徳、法と正義、法源、 一般法と特別法、判例法、法解釈、 公法と私法、市民法と社会法		
	前期末試験		学年末試験		

授業科目名	担当教官	学年学科	単位数	必・選	授業形態
経 済 学	時松雅史	4全	2	選	週2時間通年
教科書・参考書等					
教科書：『経済原論』 日高 晋 有斐閣 プリント資料配布					
授業目標・授業方針・学習方法・評価方法等					
<p>授業目標：経済学がどのような学問かを学生に知ってもらうとともに資本主義経済に貫徹する諸法則を理解する。さらに現代の社会現象を経済学的に整理できる能力を養う。後期は、日本経済の発達を概観しながらその変容について考察を深めていく。</p> <p>授業方針：教科書の通読を中心とし、それを補足するプリントを読み理解していく。夏休みには経済小説等の感想文を課題とする。</p> <p>学習方法：授業の説明をよく聞き、教科書、ノートをよく読むこと。</p> <p>評価方法：定期試験と夏休みの感想文により評価を行う。</p>					
授業進度・内容					
時数	前 期	時数	後 期		
4	序 論 経済学とは何か	4	第三篇 分配論 利潤について		
8	第一篇 流通論 商品、貨幣、資本について	4	地代、利子について		
	前期中間試験	6	日本経済史 江戸時代のモノの流れと信用制度 の発達		
6	第二篇 生産論 資本の生産過程	4	明治維新と諸改革		
4	資本の流通過程	1 2	昭和経済史 戦後復興と高度経済成長		
8	資本の再生産過程		学年末試験		
	前期末試験				

授業科目名	担当教官	学年学科	単位数	必・選	授業形態
ドイツ語	目 正勝	4全	2	必	週2時間通年
教科書・参考書等					
教科書：「ドナウのほとり」 Heinz H. Alber他著、三修社 辞書：「アポロン独和事典」 根本道也他編 同学社					
授業目標・授業方針・学習方法・評価方法等					
<p>授業目標：ドイツ語の文法の基礎を身につけて、ドイツ語文を辞書を引きながら和訳したり、簡単な日本語文を独作文したりすることができるようになることを目標とする。</p> <p>授業方針：テキストに従いながら進み、各課の本文の和訳や練習問題などの発表をしてもらう。</p> <p>学習方法：参考書を併用して、理解を確実にする。</p> <p>評価方法：試験に拠るほか、レポートの提出状況、授業態度なども加味する。</p>					
授業進度・内容					
時数	前期	時数	後期		
1-3週	発音、辞書のひき方、動詞の現在人称変化など。名詞、冠詞類。 代名詞、会話体の文。 前置詞、命令形など。 形容詞の用法、動詞の位置。	1-3週	動詞の過去など。		
4-6週		4-6週	完了形。		
7-9週		7-9週	受動態、分詞、z u不定詞。		
10-12週		10-12週	話法の助動詞など。		
13-15週		13-15週	関係代名詞、接続法。		

授業科目名	担当教官	学年学科	単位数	必・選	授業形態
中国語	宮崎龍介	4全	2	必	週2時間通年
教科書・参考書等					
教科書：「中国語スケッチ15」 荒川清秀 他著、朝日出版社 辞書：「プログレッシブ中国語辞典」 小学館 「講談社 中日辞典」 講談社					
授業目標・授業方針・学習方法・評価方法等					
<p>授業目標：隣国の言葉である「中国語」に親しみを持つとともに、その背景としての中国の人、文化、社会に関心を持つ。</p> <p>授業方針：毎回、できるだけ全員を指名し、大きな声で発音練習をする。</p> <p>学習方法：CDが付属しているので、自宅学習に大いに活用すること。</p> <p>評価方法：定期試験と平常点（出席、課題提出など）との総合評価。</p>					
授業進度・内容					
時数	前期	時数	後期		
2	ガイダンス/中国語のアウトライン	8	補語/結果・程度・方向		
10	発音(母音・子音・声調) ピンイン表記	4	数量表現・方位詞		
2	動詞述語文・人称代名詞	2	復習		
2	前期中間試験	2	後期中間試験		
4	疑問詞・形容詞述語文	6	熟語・慣用表現		
4	時間・前置詞	6	補語/可能・時量 兼語文		
4	動態助詞・助動詞・比較文	2	復習		
2	復習	2	後期期末試験		
2	前期期末試験				

授業科目名	担当教官	学年学科	単位数	必・選	授業形態
哲学	小林幸人	5全	2	必	週2時間通年
教科書・参考書等					
必要に応じて適宜、印刷物を配布する。 参考文献については、講義の中で詳しく紹介する。					
授業目標・授業方針・学習方法・評価方法等					
<p>授業目標・方針：哲学史を概観することにより、哲学的思考を理解する。 様々な思想に触れた上で、「私」と世界との関わりについて考察していく。</p> <p>学習方法：講義を聴いて、しっかりとノートをとる。 多くの思想家の達した結論を覚えるのではなく、何を問題とし、どのような方法で解き明かそうとしているのか、その思想過程を追体験することが重要。</p> <p>評価方法：授業態度、試験、ノート、レポート等で評価する。 試験は論述式で行う予定。</p> <p>*授業進度は一応の目安。適宜質問等に応じて、問題を取り上げたい。</p>					
授業進度・内容					
時数	前期	時数	後期		
4	ガイダンス 哲学とはどのような学問か 文献案内	6	「私」という存在のあり方 独在論 自己と他者 自我の構造		
8	哲学史外観 古代ギリシアの哲学 ソクラテス・プラトン・アリストテレス	16	世界認識の方法 主観と客観 現象学的方法 解釈学的方法 言語と世界 真理とは何か		
2	中世哲学 スコラ哲学				
8	近世哲学 デカルト カント 経験論	10	「私」と世界との関わり		
8	現代思想の潮流				

授業科目名	担当教官	学年学科	単位数	必・選	授業形態
人文社会特論 (美術史)	佐藤伸二	5全	2	必	週2時間通年
教科書・参考書等					
教科書：使用せず、プリント資料配布 参考書：『やきもの』吉田光邦 NHKブックス 『やきもの文化史』三杉隆敏 岩波新書 『中国陶磁史』佐藤雅彦 平凡社					
授業目標・授業方針・学習方法・評価方法等					
<p>授業目標：日本人はやきもの好きで、日常生活でのかかわりは深い。日本のやきもの特色を理解させ、それを通して日本人の美意識について考えさせる。</p> <p>授業方針：やきものに関する用語や分類等の基本的な知識を身につけさせ、陶磁全集等の写真を見せ、やきものを見る目を養わせる。授業後には毎回短い感想を書かせる。</p> <p>学習方法：説明をよく聞き、写真ををよく見ること。</p> <p>評価方法：年4回の定期試験と授業後に書かせた感想により評価を行う。</p>					
授業進度・内容					
時数	前期	時数	後期		
4	1. やきものの分類と特色	2	5. 日本のやきものの歴史と特色		
4	2. やきものの原料と製作法	5	(イ) 先史時代の土器		
6	3. 中国のやきものの歴史と特色	5	(ロ) 古代の土器と陶器		
6	(イ) 磁器の成立	6	(ハ) 中世の陶器と瀬戸焼		
2	前期中間試験	2	(ニ) 近世のやきもの		
4	(ロ) 染付の成立	2	後期中間試験		
4	(ハ) 五彩の成立	4	6. 茶の湯の美意識とやきもの		
2	4. 朝鮮半島のやきものの歴史と特色	2	7. オランダへ輸出された日本のやきもの		
2	(イ) 高麗の青磁・白磁	2	8. やきものに見る日本の美		
2	(ロ) 李朝の白磁・染付	2	学年末試験		
2	前期末試験				

授業科目名	担当教官	学年学科	単位数	必・選	授業形態
人文社会特論 (言語学)	宮下尚子	5	2	必	週2時間通年
教科書・参考書等					
①テキストは使用しない ②プリントを用意する。 ③参考文献は講義中に指示する					
授業目標・授業方針・学習方法・評価方法等					
<p>言語学とは？言語とは？            普段無意識のうちに頭の中に蓄えられた言語の知識という存在を、改めて意識しなおすことが講義の目標である。講義では言語学の基本的な問題を、日本語あるいは日本の方言を中心にした身近な例とともに考察する。言語とは何を対象とし、どういう考え方をするのか、どういう問題が残っているのかなどの分析プロセスに重点を置く。            この他、随時、視聴覚教材を用いた実習も行う予定である。</p>					
授業進度・内容					
時数	前期	時数	後期		
	①導入(言語と言語学について)  ②前期は言葉自体の仕組みを音韻論、統語論、意味論の順に論じる。		③後期は「言語学という学問がいかん人間の社会生活に応用できるか」という問題を考えていく。具体的なトピックとしては、脳と言語、言語修得、動物と言語、コンピュータと言語、社会言語学等を予定している。		

授業科目名	担当教官	学年学科	単位数	必・選	授業形態
健康科学	宅島章 四宮一郎	5全	2	選	週2時間通年
教科書・参考書等					
教科書：プリント資料配布					
授業目標・授業方針・評価方法・学習方法等					
<p>授業目標：成人病の急増が社会問題となっている今、われわれが健康な生活を送るためには、「いかなる栄養を摂取し」、「いかなる運動をし」、「いかなる体力を維持する必要があるか」を学び、実践する能力を養う。</p> <p>授業方針：授業では上記3本を柱とし、2回の定期試験を行う。実技においては、ゴルフ、パドミントン、ローラースケートを取り入れ、技術の向上は当然として、その種目における生体負担度も測定し、自己の体力および健康度も把握させたい。定められた体育服、体育館シューズ以外の着用は認めない。また、危険防止のため装身具類の着用も禁止する。</p> <p>評価方法：2回の定期試験とコースごとの運動種目で評価を行うが、出席状況、レポートの提出状況、授業への積極的参加、貢献度等を総合して評価する。なお出席時間不足の者は原則として学年評価はしない。</p>					
授業進度・内容					
時数				時数	
	実 技				理 論
28	ゴルフコース ・ショートアイアン・ミドルアイアン ・アプローチ  レクリエーションコース ・パドミントン ・ローラースケート			8	第2章 健康づくりと運動 1. 運動のエネルギーと酸素の役割 2. 有酸素運動と無酸素運動 3. 健康づくりのための運動 4. 運動処方
	理 論 (各コース共通)			8	第3章 栄養・運動と肥満 1. 食物の成分とからだの成分 2. 運動と栄養 3. 肥満と栄養 4. 肥満治療
8	第1章 現代人の健康 1. 平均寿命・余命と疾病構造の変化 2. 現代社会の特徴と健康問題 3. 健康づくりの指針			8	第5章 体力とトレーニング 1. アスリートの体力 2. アスリートのトレーニング

授業科目名	担当教官	学年学科	単位数	必・選	授業形態
ドイツ語	目 正勝	5全	2	選	週2時間通年
教科書・参考書等					
教科書：「トリスタンとイゾルダ物語」武村次郎編注、東洋出版株式会社					
授業目標・授業方針・学習方法・評価方法等					
<p>授業目標：平易な読み物を読んでゆきながらドイツ語の読解力を養う。</p> <p>授業方針：テキストの和訳を発表してもらい、それを検討してゆく。文法についても詳しく見てゆく。</p> <p>学習方法：参考書を併用して、理解を確実にする。</p> <p>評価方法：定期試験、平常の学習成績を考慮して行う。</p>					
授業進度・内容					
時数	前 期	時数	後 期		
	(中間試験まで) テキストの和訳。1回1-2ページ ずつ読んでゆく。 接続法、関係代名詞を学習する。		(後期中間試験まで) テキストの和訳。文法の説明の補足。		
	(前期末試験まで) テキストの和訳。 受動態を学習する。		(学年末試験まで) テキストの和訳。テキストの内容と 関連した事柄。		

授業科目名	担当教官	学年学科	単位数	必・選	授業形態
中国語	宮崎龍介	5全	2	選	週2時間通年
教科書・参考書等					
教科書：「中級中国語会話トーク・トピックス」沈国威・安力著、白帝社					
辞書：「プログレッシブ中国語辞典」小学館 「講談社 中日辞典」講談社					
授業目標・授業方針・学習方法・評価方法等					
<p>授業目標：既習の文法事項の定着をはかりつつ、日常のテーマについて、ヒアリング力と会話力の養成をする。</p> <p>授業方針：毎回2人ずつペアを組んで、会話の反復練習をする。</p> <p>学習方法：CDが付属しているので、自宅学習に大いに活用すること。</p> <p>評価方法：定期試験と平常点（出席、課題提出など）との総合評価。</p>					
授業進度・内容					
時数	前 期	時数	後 期		
4	自己紹介・あいさつ	6	場所の表現・乗り物		
4	家庭・趣味	6	病気・身体		
4	日時の表現	2	復習		
2	復習	2	後期中間試験		
2	前期中間試験	6	天気・季節		
4	スポーツ	6	ファッション		
4	料理	2	復習		
4	ショッピング	2	後期期末試験		
2	復習				
2	前期末試験				